



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2022年12月27日  
大成建設株式会社  
農林中央金庫

## 大成建設株式会社・農林中央金庫によるサステナビリティ・リンク・ローンの 契約締結について

大成建設株式会社（代表取締役社長：相川善郎、以下「当社」）と、農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。

SLL は、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸付条件と SPTs の達成状況を連動させることで、借り手に目標達成に向けた動機付けを促進するとともに、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長支援を目指すものです。

当社は、「人がいきいきとする環境を創造する」というグループ理念のもと、建設業を中核とした事業を通じてサステナビリティ課題の解決を図るといふサステナビリティ・トランスフォーメーション（SX）を実現し、人々が豊かで文化的に暮らせるレジリエントな社会づくりに貢献することをサステナビリティ基本方針としています。2021年5月に発表した中期経営計画（2021-2023）では、環境分野のフロントランナーを目指し、カーボンニュートラルに向けた取組みを加速させることを重点課題としています。

農林中央金庫は、自らの存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。また、2021年5月に発表した中長期目標のなかで、2030年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を10兆円とする目標を設定するなど、サステナブル経営に向けた歩みを進めており、当社が推進するサステナビリティ経営の理念にも共感しています。本件ローンによる資金供給を通じて、当社による気候変動問題の解決に資する取組みを支援してまいります。

本件ローンでは、当社が CDP（注）気候変動スコアで「リーダーシップレベル（A、A-）」を獲得することを SPTs に設定いたしました。

（注）CDP：気候変動など環境分野に取り組む国際的な非営利団体。機関投資家の要望を受け、気候変動等に関する質問票を世界の主要な企業へ送付し、収集した回答を分析・評価・開示している。

なお、本件ローンの契約締結にあたっては、SLL 原則等への適合性について、株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しており、上記 SPTs については、野心度および有意義性等の観点から SLL 原則に適合していると評価されています。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

大成建設株式会社 環境マネジメント部環境広報室（岩崎・箇木） 03-5326-0211

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班（宮澤・水元） 03-6362-7172

【本件ローン概要】

- 実行日： 2022年12月27日
- 融資期間： 5年
- 資金使途： 長期運転資金

【参考リンク】

大成建設のサステナビリティについて

<https://www.aisei-sx.jp/>

株式会社格付投資情報センターによる第三者意見

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>